

第 16 号 議 案

令和8年度京都府流域下水道事業会計予算

(総 則)

第1条 令和8年度京都府流域下水道事業会計の予算は、次に定めるところによる。

(業務の予定量)

第2条 業務の予定量は、次のとおりとする。

(1) 流 域 関 連 市 町 京都市、宇治市、宮津市、城陽市、向日市、長岡京市、八幡市、京田辺市、木津川市、大山崎町、久御山町、井手町、宇治田原町、精華町及び与謝野町

(2) 年 間 総 処 理 水 量 114,036,000立方メートル

(3) 一 日 平 均 処 理 水 量 312,427立方メートル

(4) 主要な建設改良事業

ア 桂川右岸流域下水道事業 水 処 理 施 設 一式

イ 木津川流域下水道事業 水 処 理 施 設 一式

(収益的収入及び支出)

第3条 収益的収入及び支出の予定額は、次のとおりと定める。

収 入

第 1 款 流 域 下 水 道 事 業 収 益 15,256,596千円

第 1 項 営 業 収 益 8,442,385千円

第 2 項 営 業 外 収 益 6,814,211千円

支 出

第 1 款	流 域 下 水 道 事 業 費 用	15, 123, 701千円
第 1 項	営 業 費 用	14, 806, 272千円
第 2 項	営 業 外 費 用	317, 429千円

(資本的収入及び支出)

第 4 条 資本的収入及び支出の予定額は、次のとおりと定める（資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額 1, 289, 506千円は、損益勘定留保資金等 1, 289, 506千円で補填するものとする。）。

収 入

第 1 款	資 本 的 収 入	6, 007, 754千円
第 1 項	企 業 債	2, 245, 000千円
第 2 項	出 資 金	336, 004千円
第 3 項	負 担 金	1, 057, 250千円
第 4 項	補 助 金	2, 369, 500千円

支 出

第 1 款	資 本 的 支 出	7, 297, 260千円
第 1 項	建 設 改 良 費	4, 872, 171千円
第 2 項	企 業 債 償 還 金	2, 425, 089千円

(債務負担行為)

第 5 条 債務負担行為をすることができる事項、期間及び限度額は、次のとおりと定める。

事 項	期 間	限 度 額
流 域 下 水 道 事 業 営 業 費 用	令和 8 年度から令和 9 年度まで	1, 574, 000 <small>千円</small>

令和8年度流域下水道事業建設改良費

令和8年度から令和11年度まで

10,621,000

(企業債)

第6条 起債の目的、限度額、起債の方法、利率及び償還の方法は、次のとおりと定める。

起債の目的 建設改良資金等に充てるため。

限度額 2,245,000千円

起債の方法 証書借入又は証券発行（他の地方公共団体との共同発行を含む。）

利率 年10.0%以内

償還の方法 (1) 償還期間は、30年以内（据置期間を含む。）とする。
(2) 償還は、元金均等、元利均等又は元金一括支払とする。
(3) 必要に応じて繰上償還又は借換えをすることができる。

(一時借入金)

第7条 一時借入金の限度額は、7,500,000千円と定める。

(議会の議決を経なければ流用することのできない経費)

第8条 次に掲げる経費については、その経費の金額を、それ以外の経費の金額に流用し、又はそれ以外の経費をその経費の金額に流用する場合は、議会の議決を経なければならない。

職員給与費 513,414千円

(他会計からの補助金)

第9条 減価償却費、企業債利息及び高度処理に要する経費等に充当するため、一般会計からこの会計へ補助を受ける金額は、1,575,673千円と定める。

令和8年2月4日提出

京都府知事 西 脇 隆 俊